



“時代の主流”と直感して採用した経鼻内視鏡 鼻からの胃カメラで、さらに楽な検査を実現

木村内科

〒508-0015 岐阜県中津川市手賀野400-1 TEL.0573-65-8088 FAX.0573-65-8688
URL <http://kimura-cl.jp>

岐阜県中津川市にある木村内科は、同じ医療法人英泉会の木村眼科と隣り合わせに建っている。眼科の院長は木村英次医師、内科の院長は木村いずみ医師。岐阜大学医学部の先輩と後輩にあたるご夫婦によって建てられた二つの医院だ。

木村内科がこの地に開業したのは2000年。それから2年後、近くにあった木村眼科が隣接地に移転してきた。それ以来、地域の患者さんの便宜は飛躍的に高まったという。

木村いずみ院長は、一般内科を中心に消化器科、循環器科、小児科と幅広い患者さんに対応している。おじいちゃん、おばあちゃんから赤ちゃんまで、家族みんなを診るファミリークリニックだ。この医院に経鼻内視鏡が採用されたのは、2008年3月のことだった。

経緯について、木村院長はこう語る。「2007年の秋だったと思いますが、静岡赤十字病院経鼻内視鏡センターの川田和昭先生の講演を聞いたのです。その中で、海外にも経鼻内視鏡の指導に行かれるというお話があり、時代の主流はこれだと感じました。口からの内視鏡検査に比べると経鼻内視鏡はとて楽で、ほとんどの方が次回からは経鼻内視鏡を受けたいとおっしゃると聞いたことも理由の一つです」

これまで使っていたのは、他社製の経口内視鏡だった。交換するにあたっては、慣れるまでの間、しばらく経口で使用して試した。スコップのしなりや手元の操作で先端が4方向に動く感触を体得する必要があったからだ。こうして慎重に経鼻へと切り替えてまだ半年に満たないが、毎日のように検査が入り、評判は上々だという。

「大きな病院では、ゲップを出すなど怒る先生もいますが、そこは女医としての気配りで、できる

だけ患者様の負担にならない検査を心がけてきました。経鼻内視鏡に換えた今では、さらに評判が良くなったと感じます。経口内視鏡よりも、ずっと楽だったから次回も経鼻で、とおっしゃる方が大多数です」

木村内科では、経鼻内視鏡と同時に、分光内視鏡画像処理装置（FICE）も採用した。これは、色素散布をしなくてもポリープなど粘膜の隆起が強調される装置だ。自由に色を変えられるので、ピンク色の胃粘膜の中では見えにくい発赤でも、地色を緑色に変えることで発赤だけを浮き上がらせることができ、細かな点状出血まではっきり見て取れる。

「胃がんを早期発見するためには、気軽に受診できる検査が欠かせません。そのため経鼻内視鏡は、胃腸に特化した専門医院だけでなく、当院のようなファミリークリニックにも必要だと思えます」

やさしく受診しやすいクリニックという評判は、経鼻内視鏡の採用でさらに高まることだろう。

INFORMATION

- 診療科目
内科、消化器科、循環器科、小児科、リハビリテーション科
- 診療受付時間
平日(木曜・土曜を除く)/8:40~11:30, 15:00~18:30
木曜・土曜日/8:40~11:30
- 休診日
木曜・土曜日午後、日曜日、祝日
- 内視鏡検査
胃内視鏡検査は電話か来院して申し込み、予約日を決める。通常、診療時間内に検査を行う。



院長 木村いずみ